

愛称：**月桂樹**

高金利先進国債券オープン(毎月分配型)



月桂樹 ポートフォリオマネージャー  
アンドレ・セベリノ

直近1年間の運用概況と今後の見通しについて

「月桂樹」は、2003年の設定来、多くの投資家の皆様にご愛顧をいただいている、海外債券に投資を行なうファンドです。本資料では、直近1年間の運用概況や今後の見通しなどについて、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをご紹介します。

直近1年間(2015年7月~2016年6月)の運用実績

- 昨年7月以降、当ファンドを取り巻く投資環境は厳しい状況が続きました。為替市場では、投資家のリスク回避の動きなどから円が買われる場面が多みられ、特に今年6月下旬には、英国のEU(欧州連合)離脱を巡る国民投票の結果が離脱支持となったことを受けて円が主要通貨に対して大きく上昇しました。そうしたことから、当ファンドの為替収益は大きくマイナスとなり、パフォーマンスの重石となりました。一方で、主要先進国において低金利政策が継続されていることから、債券価格は上昇(利回りは低下)し、債券のキャピタル収益などが基準価額を下支えしました。

<直近1年間の基準価額推移>  
(2015年6月30日~2016年6月30日)



(2016年6月30日現在)

直近1年間の騰落率  
(税引前分配金再投資ベース)  
**- 12.3%**

2016年6月の分配金額  
**55円**  
(1万口当たり、税引前)

直近1年間累計  
**660円**

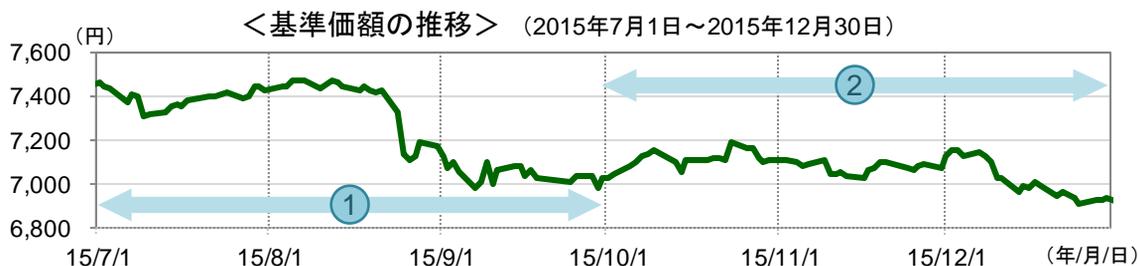
- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

本資料は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 期間別の運用概況について（1）

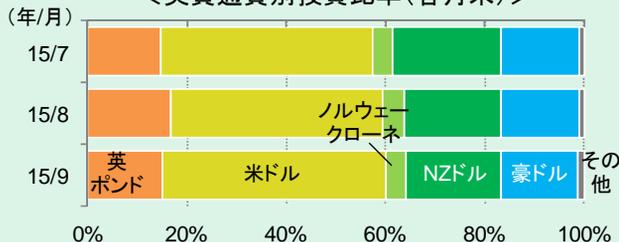


### ① 2015年7月～9月

＜基準価額騰落の要因分解＞

基準価額	15年6月末：7,449円	15年9月末：7,027円		
債券要因	為替要因	信託報酬・その他	収益分配金	合計
194円	-426円	-26円	-165円	-422円

＜実質通貨別投資比率（各月末）＞



### 【市況の動き】

- 8月に行なわれた人民元の切り下げや、中国経済指標の下振れなどを契機に、世界景気の減速懸念が台頭し、投資家のリスク回避姿勢の強まりから円が主要通貨に対して上昇しました。

### 【投資通貨の組入状況】

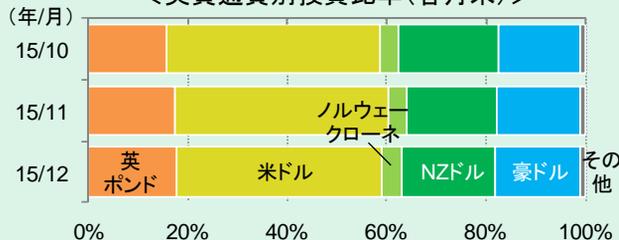
- 利上げによる通貨の上昇が期待される米ドルと、同じくファンダメンタルズが良好で、年内の利上げが予想されていた英ポンドの投資比率を引き上げました。
- 一方で、中国の景気減速懸念や乳製品価格の下落から、ソフトコモディティの輸出が多いニュージーランドドルの比率を引き下げました。

### ② 2015年10月～12月

＜基準価額騰落の要因分解＞

基準価額	15年9月末：7,027円	15年12月末：6,935円		
債券要因	為替要因	信託報酬・その他	収益分配金	合計
-58円	155円	-24円	-165円	-92円

＜実質通貨別投資比率（各月末）＞



### 【市況の動き】

- 米国の利上げ観測の高まりから、為替市場では円安が進行しましたが、12月の利上げ後は、今後の利上げペースは緩やかなものになるとの観測や、日銀の追加金融緩和策が市場の期待外れの内容であったことなどから、年末にかけて円高傾向となりました。

### 【投資通貨の組入状況】

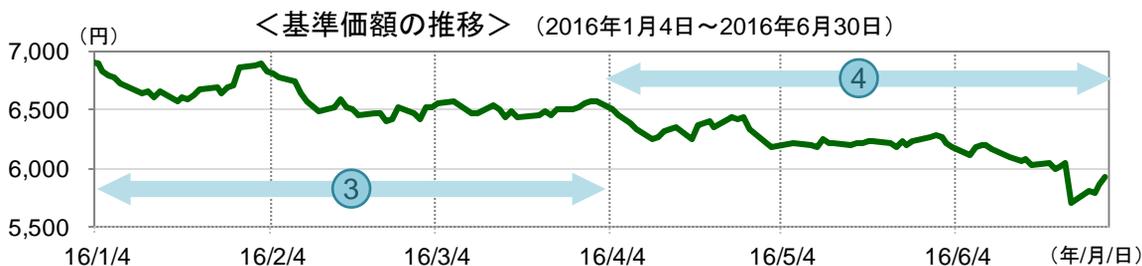
- 引き続き堅調な経済成長をみせる英ポンドや、オーストラリアドルの比率を引き上げました。
- 年末にかけては、米国の利上げペースが緩やかなものになるとの観測などから、米ドルへの投資比率を若干引き下げました。

※ 基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の1万口当たりの値です。収益分配金は税引前の値です。  
 ※ 上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。その他には計算誤差などを含みます。  
 ※ 実質通貨別投資比率は、月桂樹における実質投資比率であり、対純資産総額の比率です。その他には現金などが含まれます。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン（毎月分配型）／愛称：月桂樹」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 期間別の運用概況について（2）

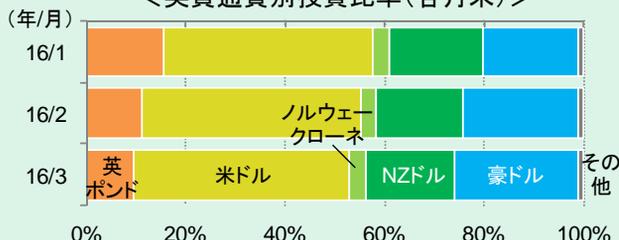


### 3 2016年1月～3月

＜基準価額騰落の要因分解＞

基準価額	15年12月末: 6,935円	16年3月末: 6,575円		
債券要因	為替要因	信託報酬・その他	収益分配金	合計
215円	-389円	-22円	-165円	-360円

＜実質通貨別投資比率(各月末)＞



#### 【市況の動き】

- 1月末に日銀がマイナス金利の導入を発表すると一時的に円安が進んだものの、2月以降は米国の経済指標下振れなどから再び投資家のリスク回避姿勢が強まり、円が買われました。

#### 【投資通貨の組入状況】

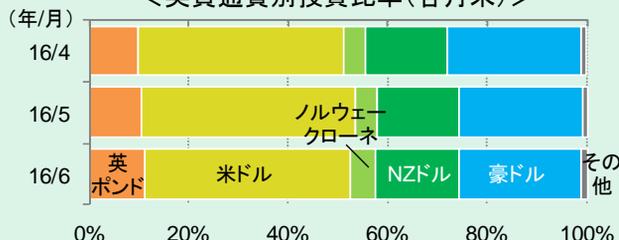
- 英国でEU離脱を巡る国民投票が6月に行なわれることとなり、不透明感の高まりから英ポンドへの投資比率を徐々に引き下げました。
- オーストラリアでは、通貨の下落によって輸出競争力が改善するなど、ファンダメンタルズが良好であったことから、オーストラリアドルの比率を引き上げました。

### 4 2016年4月～6月

＜基準価額騰落の要因分解＞

基準価額	16年3月末: 6,575円	16年6月末: 5,923円		
債券要因	為替要因	信託報酬・その他	収益分配金	合計
164円	-629円	-22円	-165円	-652円

＜実質通貨別投資比率(各月末)＞



#### 【市況の動き】

- 米利上げの先送り観測や、4月末に日銀が追加金融緩和を見送ったことなどから、円高が進行しました。さらに6月末には、英国の国民投票の結果を受けて英ポンドが急落した一方、円が主要通貨に対して急騰しました。

#### 【投資通貨の組入状況】

- 英国の国民投票が近付くにつれて不透明感が増したことから、英ポンドへの投資比率を低位に保ちました。また、利下げ観測の高まりから、ニュージーランドドルの比率を引き下げました。
- 原油価格の上昇が期待されることから、産油国であり、ファンダメンタルズの堅調なノルウェークロネの投資比率を若干引き上げました。

※ 基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。収益分配金は税引前の値です。  
 ※ 上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。その他には計算誤差などを含みます。  
 ※ 実質通貨別投資比率は、月桂樹における実質投資比率であり、対純資産総額の比率です。その他には現金などが含まれます。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 今後の投資国の見通しについて（1）



### イギリス

#### 先行きの不透明感から、慎重な見方を維持

- 当ファンドでは、堅調なファンダメンタルズや利上げへの期待感などから、昨年末までは英ポンドの投資比率を高位（17.6%（2015年12月末）\*）に保っていましたが、国民投票に対する不透明感から足元では投資比率を引き下げていました（11.2%（2016年6月末）\*）。EU離脱のプロセスについては現時点で不明な点も多く、その影響などを注視しながら、慎重な見方を維持する方針です。

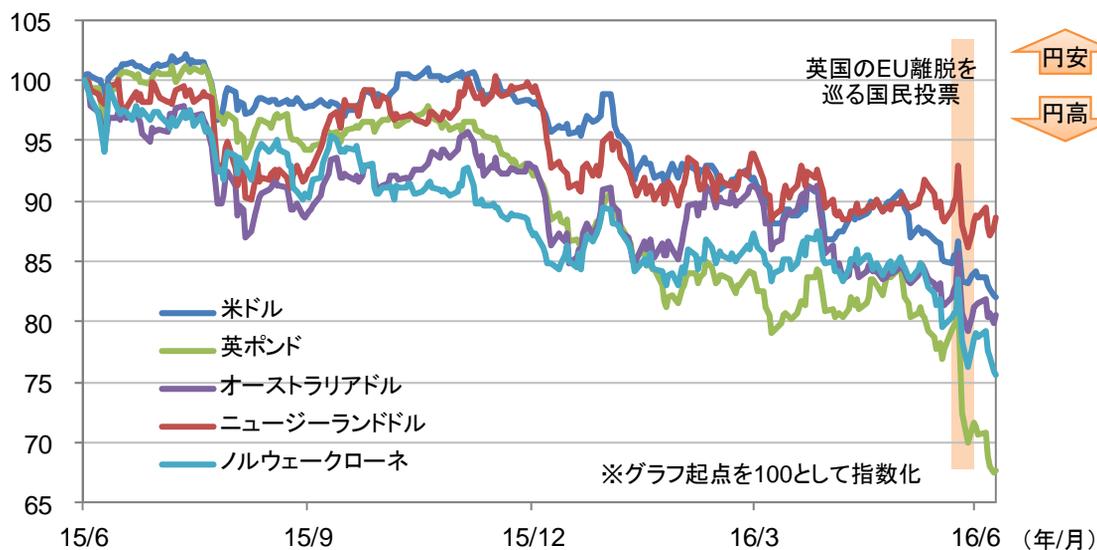
\* 月桂樹における実質投資比率であり、対純資産総額の比率です。

#### 為替には不安定さが残るものの、債券市場は堅調に推移

- 英国のEU離脱に伴う不透明感は、この先徐々に市場心理に影響を及ぼすとみられます。英国では、特に設備投資や不動産投資が減速し、景気の伸びを抑えられ、英国経済は今後数四半期にわたって減速が懸念されます。英ポンドは、国民投票後に大幅下落しましたが、今後数カ月はさらなる下落の可能性もあると考えられます。
- 大手格付会社による信用格付の引き下げがあったものの、足元で英国債券の価格は大きく上昇（利回りは低下）しており、格下げの影響は限定的であったとみられます。また、同国中央銀行が既に経済を支えるための措置を講ずる準備ができていると表明していることから、引き続き安全性を求める資金が英国債券に流入すると考えられ、英国債券市場は底堅い展開が見込まれます。

#### ＜投資通貨の推移（対円レート）＞

（2015年6月30日～2016年7月8日）



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 今後の投資国の見通しについて（２）



### アメリカ

#### 金利正常化の動きは継続するとみられ、米ドルの上昇が期待される

- 米国経済は緩やかながらも成長を続けるとみています。労働市場は堅調を維持しており、不動産価格も歴史的な低金利に支えられて再び上昇し始めています。市場では年内の利上げに対する期待が低下しているものの、我々はこうした見方は慎重すぎると考えています。今後も堅調な経済成長を背景に、同国の金利正常化の動きは継続するとみられ、その場合、米ドルの上昇が期待されます。



### オーストラリア

#### 政治的なリスクはあるものの、債券市場は堅調を維持

- オーストラリアは、政治的な不透明感が短期的に逆風となり、再度の利下げを余儀なくされる可能性はあるものの、そうした見方は既にある程度、市場に織り込まれていると考えます。
- 堅調な内需に支えられた良好なファンダメンタルズや、相対的に高い金利水準などを背景に、債券市場は堅調に推移すると考えます。ただし、近年の為替市場はリスクに敏感に反応する傾向があるため、引き続き注視が必要です。



### ニュージーランド

#### 安定した経済状況や相対的に高い金利水準が魅力

- ニュージーランドは、足元で景気に配慮した金融政策を採っています。同国の比較的安定した経済状況や、相対的に高い金利水準などから、同国債券は魅力的な投資対象であると考えます。



### ノルウェー

#### 原油価格の底入れが経済や通貨の追い風に

- 足元で原油の供給過剰は緩和しつつあるとみられ、産油国であるノルウェーの経済には追い風であると考えられます。また、同国の経済成長や労働市場は比較的堅調であり、財政収支は黒字が継続しています。

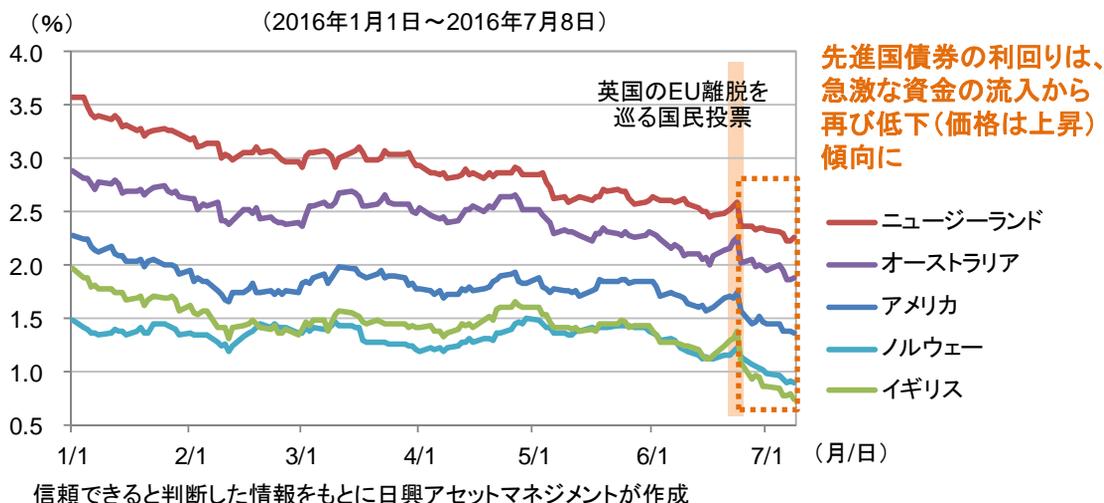
## 当ファンドが投資する高金利先進国債券の魅力



### 市場の変動性が高まる中、改めて認識される高金利先進国債券の魅力

- 当ファンドが投資対象とする、相対的に高金利で信用力の高い先進国債券は、**一般に最も安全とされる資産の一つ**です。**足元ではこうした資産に多くの資金が流入**しており、変動性の高い局面における、同資産の投資魅力が改めて認識されていると言えます。
- 当ファンドは引き続き、流動性や信用力、金利や為替の方向性の分析などに注力し、投資国の厳選と機動的な投資比率の調整を行なうことで、中長期的に高いリターンの実現をめざしてまいります。

#### <投資国の長期金利(10年国債利回り)の推移>



### 投資国の厳選と機動的な投資比率の入れ替え

#### <投資する国>

主要先進国(OECD\*加盟国)

\*経済協力開発機構

信用力が高い国

(AA格またはAa格相当以上の国)

金利水準が高い国

#### <重視するポイント>

ファンダメンタルズ

流動性

金利や為替の方向性

#### <分散投資>

5カ国程度に分散

適宜、投資国を入れ替え

市場環境により、投資国の見直しや投資比率の調整を行ないながらリスクを分散

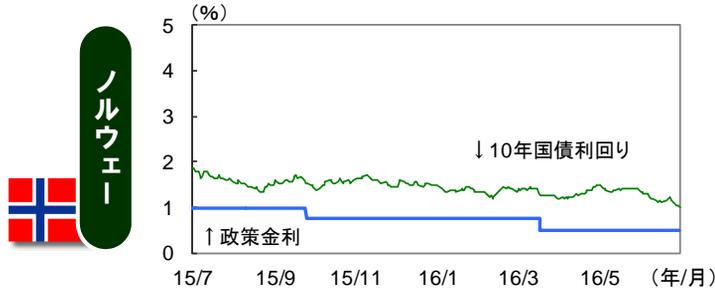
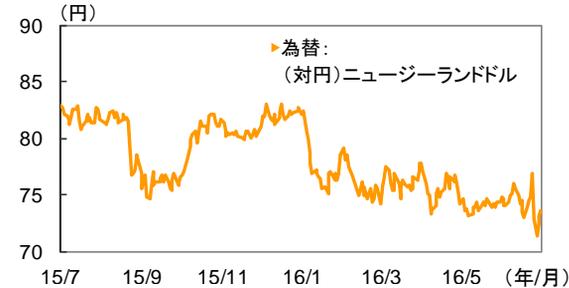
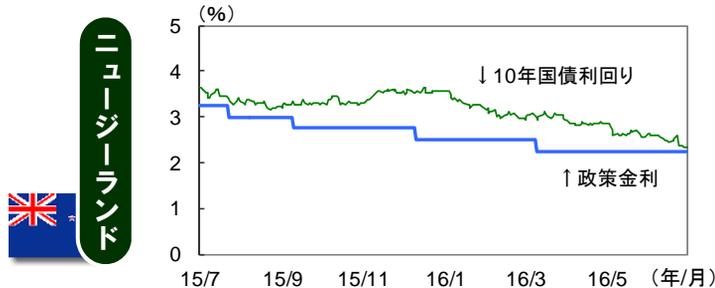
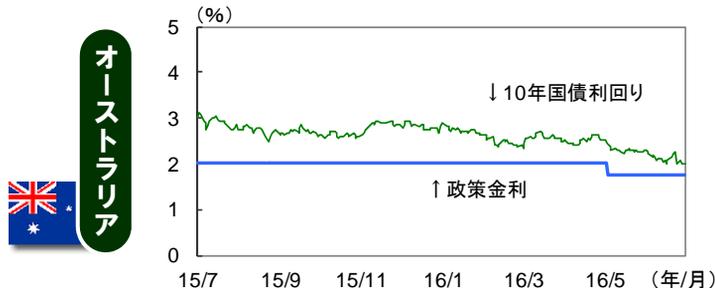
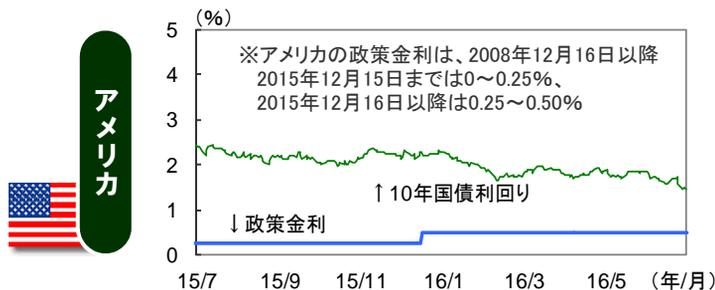
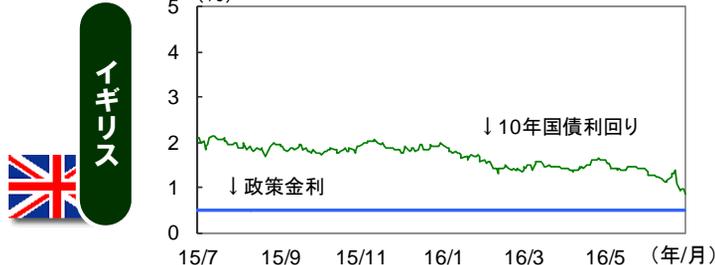
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(ご参考) 投資国の債券市場と為替市場の動向



(2015年7月1日～2016年6月30日)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 設定来の運用実績（2016年6月30日現在）



### <設定来の基準価額と純資産総額の推移>

（2003年8月5日（設定日）～2016年6月30日）



（2016年6月30日現在）

設定来騰落率  
（税引前分配金再投資ベース）  
**+ 72.28%**

純資産総額  
**3,426億円**

2016年6月の分配金額

**55円**  
（1万口当たり、税引前）

設定来合計  
**8,965円**

### <設定来の分配金実績（1万口当たり、税引前）>

2003年11月～ 2004年1月	2004年2月～ 2007年1月	2007年2月～ 2007年6月	2007年7月～ 2010年6月	2010年7月～ 2015年3月	2015年4月～ 2016年6月
40円/月	45円/月	50円/月	60円/月	70円/月	55円/月

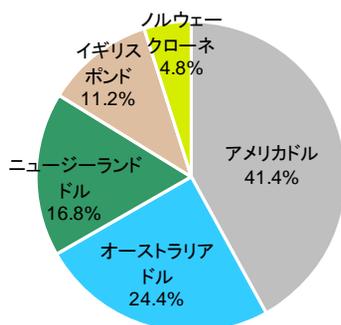
※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

### <実質通貨別投資比率>

（2016年6月末現在）



※ 実質通貨別投資比率は、月桂樹における外貨建資産の実質投資比率であり、対純資産総額の比率です。  
※ 比率はその他があるため100%とならないことがあります。

### <利回りなど>

（2016年6月末現在）

平均クーポン	3.09%
平均直接利回り	2.79%
平均最終利回り	1.60%
平均デュレーション	6.0年
平均残存期間	6.8年

※ 「利回りなど」は月桂樹のマザーファンドの状況であり、個別債券について加重平均したものです。

※ 平均直接利回りは、債券の時価価格に対する1年間に受け取る利息の割合を表したものです。

※ 平均最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。

※ 各利回りは、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

## 投資信託で分配金が支払われるイメージ

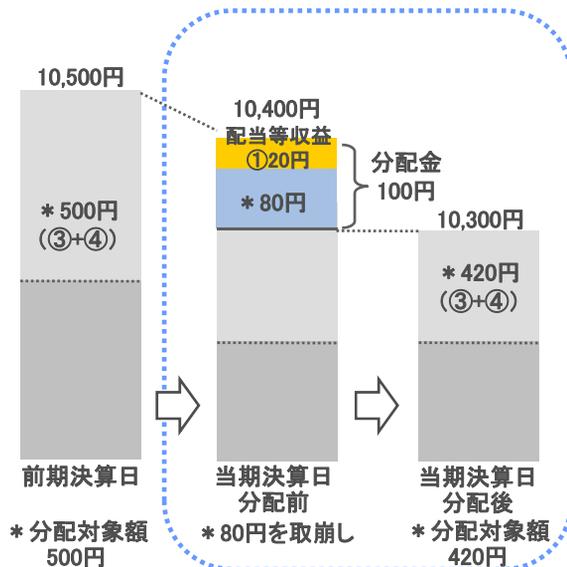
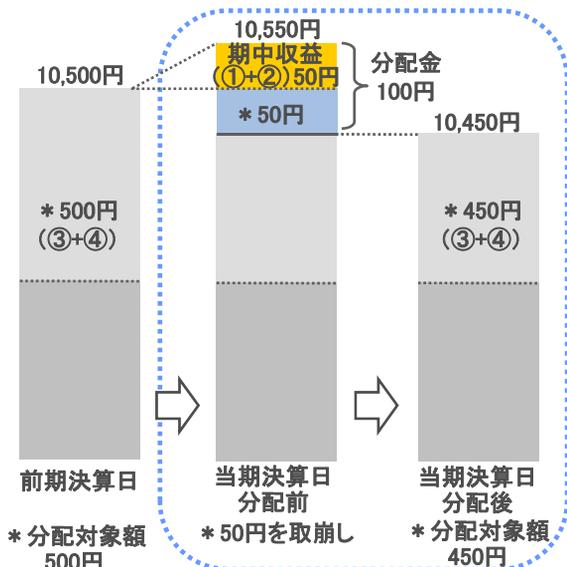


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

### 前期決算から基準価額が上昇した場合

### 前期決算から基準価額が下落した場合

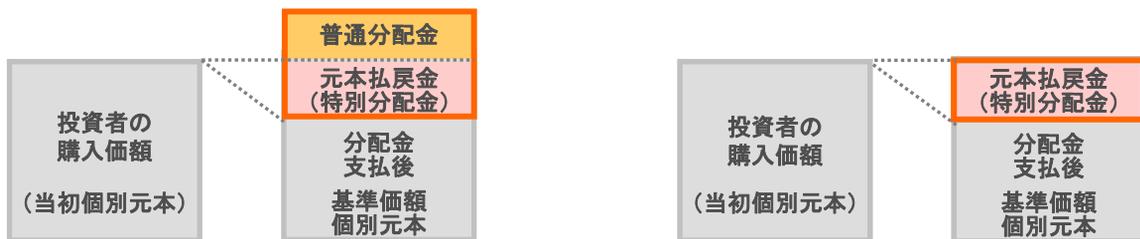


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## ■お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日が下記のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・シドニー先物取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
信託期間	無期限(2003年8月5日設定)
決算日	毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日が下記のいずれかに当たる場合は、換金の請求の受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・シドニー先物取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、2.16%(税抜2%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.35%(税抜1.25%)を乗じて得た額
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■お申込みに際しての留意事項

### リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】 【流動性リスク】 【信用リスク】 【為替変動リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## ■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッド
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第16号	○		○	
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号	○			
岐阜信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第35号	○			
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
静銀ティエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○			
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○		○	
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○		○	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第60号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第5号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)